



## 新年を迎えるにあたり

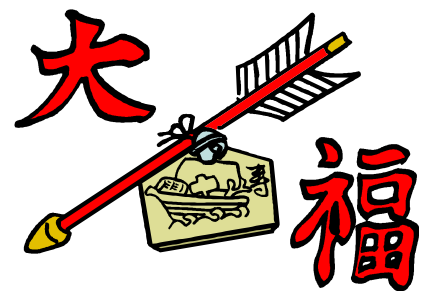
いよいよ2010年も終わりを迎えます。いろいろなことがあった2010年であったかもしれませんが。「閉塞感」などという言葉が語られることも多い気がします。しかし、こうして時が流れると、みなさんが社会に出て行く時が近づいていきます。もし、この社会に「閉塞感」があふれているとするなら、それを打破するのは、私たちの中の誰かであり、私たち自身がきっと閉塞感を作ってしまったのでしょう。

まだ、高校生活を過ごしているあなたたちには、きっと責任はありません。責任は、大人である我々にあるのです。でも、責任がないと思っている、もうそのうちに、あなたたちは、一歩ずつ大人に近づき、大人になる時を迎えるのです。そのとき、閉塞感を私たちが壊していないとするならば、「あなたたち」も、「私たち」となって一緒に「閉塞感」を打破しなければならないのです。

高校生活が、残り1年になるということは、大人の一手手前です。大学生が「大人」か「子ども」かは難しい議論ですが、子どもであったとしても、大人の準備期間というには、あまりに大人になる手前であるような気がします。「シューカツ」は、「大人の準備期間」でいるような人に突破できるものではありませんから。

2年生も残りわずか、というよりは、間近に3年0学期を控えていると思ってください。3年生が受験に向かうということは、まさにあなたがたのスタートが近づいているということです。

1年の節目、というのは、どれほどの意味を持つのかはわかりません。昨日から今日と、2010年から2011年という違いにどれほどの重さがあるのかといわれれば、よくわからないのが実状です。しかし、そうした節目を自分なりにうまく設定しながら、ある期間の反省をし、ある期間の目標を立て、ある期間の行動を決める、というのは必要なことです。先にありすぎることには、ぼんやりしすぎてどうすればいいかわかりませんし、近すぎることは努力してもどうにもならないからです。



ぜひ、12月31日、1月1日と、今年目標を新たに、何かをはじめてみましょう。始めるには、またとないタイミングです。自分の人生や、この国の運命は、結局は、私たち自身が握っているのですから。

最後に、年末年始は、ぜひ、お手伝いをして、いろいろな人に挨拶をしましょう。いろいろな人の助けがあって、あなたがいるのです。しっかり挨拶をして、どれだけの人にささえてもらっているのか、受験の前によく感じておきましょう。あなたの成功を喜んでくれる人たちがきっとあなたたちにはたくさんいることでしょう。自分のためだけではなく、そうした人たちのために、がんばろうと思えば、あなたは簡単に夢をあきらめなくなります。まず、出かけてみることに、挨拶を試してみることに。

そして、感謝の気持ちは、お手伝いといった行動で表すことも大事です。簡単なことで結構ですから、大事な1年の前に形にしておくといいですね。

あなたの1年がすてきな1年になりますように。あなたが自らの力で福を呼び込めることを期待しています。

## 駿台マーク模試～センター試験に向けて

12月24日、25日に駿台マーク模試、1月21日にセンターチャレンジ、2月6日に河合マークとセンター試験型模試が行われます。マーク模試がこのように本格化していき、これから模擬試験は以下の3種類になっていきます。「自分に合わせて受験しましょう」と言いたいところですが、なかなかそうはいきません。なぜなら、センター試験は本校の80%以上の生徒が受験し、一般入試はほぼ全員が受験するからです。したがって、結局は、その異なる3種類の模試すべてに対応し、準備、訓練しながら、受験当日を迎えることとなります。

- ① マーク模試 センター試験のそっくり模試です。センター試験対応ですので、私大対応ではありません。
- ② 記述模試 センター試験以外の試験に対応している模試です。国公立2次、私立の両方を見据えているため、どちらにも似ていませんが、私立、国立2次ともに、これらの模試を指標にするしかありません。  
※上記2つの模試で、「ドッキング判定」がされるようになります。国公立や個別試験を課すセンター利用では、「センター+2次・個別」で判定されるからです。もちろん、今後はそうした判定には各大学の配点が反映されることとなります。
- ③ 各大学のプレ模試 旧帝大、一橋、東工大、早慶は、プレ模試が1回か2回行われます。ただし、私立のプレ模試は試験問題の異なる学部を共通にしていますので、必ずしも「そっくり」ではありません。

以上のような模試を利用していきますので、模試の量は圧倒的に多くなります。時間がなからといって、ひとつでも対策不足になるのは好ましくありません。赤本などを利用して、各自でプレ模試をすることはいくらかでも可能ですが、「時間がない」「大変」という人にかぎって、そういう各自の過去問対策をしないからです。

### マーク模試、センター試験を受ける前に

センター試験は、非常に特殊な試験です。したがって、センター試験を受けるにあたってはいくつかの具体的なテクニックが必要になります。駿台マーク模試を受けるにあたって、簡単におさらいしておきましょう。

自己採点…センター試験は、試験の翌日には、模範解答、配点が公表されます。問題がマーク試験ですので、解答を控えておけば完璧な自己採点が可能になります。センター試験の翌日に、ほぼすべての受験生が「データリサーチ」「データネット」などと呼ばれる予備校の集計に参加し、実際の得点を用いた判定結果を見て出願することになります。もちろん、結果を見て出願校を変える受験生もいますから、判定結果通りになるとはかぎりませんが、これを最大限利用するためには、正確な自己採点が重要であるのはいまでもありません。センター模試、マーク模試を受けた時には、必ず自己採点をし、手帳に控え、返却された結果と照らし合わせるようにしましょう。

### マークミスを防ぐために

センター試験の解答用紙は、毎年同じ形式のものであり、問題に合わせて作り替えるものではありません。問題数以上の解答欄がありますから、マークミスが起こりやすく、マークミスに気づくのも、各自の確認以外手がありません。

マークミスを防ぐためには、最終問題の番号を把握し、解答用紙のその問題番号に軽く印しをつけておくことを進めます。各大問の最後に印しをつけておくといよいでしょう。

自己採点を正確に行っても、根本のミスがあっては どうすることもできません。マーク模試では、マークミスが起こらないようにしっかり訓練しておきましょう。

よく起こるミス…

- ① ダブルマーク＝次の問題を前の問題と同じところにマークしてしまい、結果、その後がすべてひとつずつずれていく。
- ② ノーマーク＝マークする欄をひとつ飛ばしてつけてしまい、結果、その後がすべてひとつずつずれていく。

### 理社の2科目選択、国語の現代文選択

2012年度から、理科・社会は1科目か2科目かを事前申請して決定します。2科目の場合、2科目で120分、1科目の場合、60分の受験時間となります。したがって、1科目であっても2科目申請しておいたほうが有利です。なぜなら、1科目しか使わない場合、仮に使わない科目が0点であったとしても、ほかの何にも影響しないからです。ということは、2科目申請しておけば、120分という余裕のある時間がもらえます。もちろん、無駄に試験場にいるより、リラックスしていたいという考え方もあるでしょう。そうした2科目受験の時間のつぶし方も、模試で練習すべきことのひとつです。

理系では国語が「現代文のみ」という学校もありますが、これも同様です。他の大学への出願が一切無いのなら、80分間で「現代文のみ」をやっけてかまわないのです。ただし、この場合、リサーチを見て他大学への出願がかなり困難になりますので、大学研究は必須です。

### 科目別のテクニック

国語…基本的に現代文に時間がかかりすぎることが失敗の主な原因です。したがって、漢文→古文→評論→小説の順に解くことをすすめます。最も時間の読める順番に並べ替えました。小説は「読めるけれど、どれが正しいかわからない」ので、迷い始めるといつまでも迷えます。時間を考えても最後がいいでしょう。80分で4題ですので、漢文15分古文15分、評論小説は20分フルに使って、10分予備を見込むのが目安ですが、評論小説は22分～25分ぐらいとっておきたいところなので、古文、漢文が早く終わるにこしたことはありません。古文、漢文は、本文を2度読んでから問題を解くことが原則。また、前注は要約であることが多いので、そのつもりで解くこと。評論は、時間的にも二度読めませんし、段落要約で問題ができていますので、読みながら解いてOKです。小説は、まれに全体解釈から解く問題があるので、読みながら解きますが、分からないときには最後に回すこともポイントです。

数学…基本的に、分野ごとに出题されているので、均等に時間配分することが原則です。すなわち、60分で4問ですから、1問あたり15分で最後の問題まで行く必要があります。15分の間に最後まで行き着かなければ、合格は厳しいでしょう。15分の間に最後まで行っているけれど、解答が分からない場合、先に行った方が得策です。各問題の最初の方は簡単な問題になっていますから、分からない問題に時間をかけてしまうのは一番もったいないことです。細かいポイントは授業時に配布したプリントを参考にしてください。

英語… 1問あたりの配点がより大きいのは第3問以降です。第一問、第二問は1問2点（一部3～4点）、第三問以降は6点（一部5点）というのがオーソドックスです。逆に言えば、発音、アクセントの第一問、文法、語法の第二問については、さっさと終わらせる必要があります。センター英語は読解重視、配点が大きいのは第三問、第六問ですので、第一問第二問に時間をかけないことは大原則です。第一問、第二問はわからなくてもどんどん答えていく。どうしても対策をしたいなら、そういう対策問題集をこなすしかありませんので、試験中に考える部分ではありません。この2問を15分で終わらせてください。第三問、第六問と配点が高いので、考える意味がある読解問題に時間を均等に分けられるように配分しましょう。センターは読解、速読が求められますので、センターチャレンジで得点をとりたい生徒は、文法、語法だけでなく、一定時間で読解をする練習をすすめましょう。

#### 冬休みの宿題

数学・・・センター模試・数学ⅠA・ⅡBを2回分です。提出は点数を書いた用紙1枚。ごまかそうと思えば、いくらでもごまかせる宿題です。しかし、1年後の自分のための宿題なので、きちんとやりましょう。60分の時間配分を考えるためのものです。時間を計ることが大切です。

英語…授業中に配布済みです。

国語…読書、社説をすすめるとともに各自の課題に合わせて取り組んでください。

## 30期学年目標

未知の世界を切り開き、社会に貢献する、自立した「人財」へ

### 目標とする人間像

「気づき」のある人間 「聞く姿勢」を持つ人間 「学び続ける」人間

### 身につけるべき力

目標から「逆算」する力  
やるべきことを「具現化」する力  
他者を「理解」し、「理解される」力



#### 夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。  
ルーティン型の人注意！
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。  
ルーティン型の人注意！
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気づき、人に気付いてもらえる。

- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。  
期日目標型の人注意！
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。  
期日目標型の人注意！
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。  
期日目標型の人注意！
- 成功を繰り返し、失敗を繰り返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。  
ルーティン型の人、期日目標型の人、注意！